

新潟市水道局では 「水安全計画」の運用を開始しました。

水源から蛇口に至る各段階で危害評価を行い、安全で良質な水道水を確実にお客様にお届けするため「**新潟市水安全計画**」を策定し、平成22年7月から全ての浄水場で運用を開始しました。

水安全計画とは

Water Safety Plan

水道水の安全性を一層高め、水源から蛇口に至る各段階で危害評価と危害管理を行い、常に信頼性（安全性）の高い水道水の供給を確実にする水道システムを構築するための計画です。

食品の衛生管理の方法として開発された **HACCP**（ハサップ）の考え方を水道に取り入れたものです。

HACCP

Hazard Analysis（危害分析）

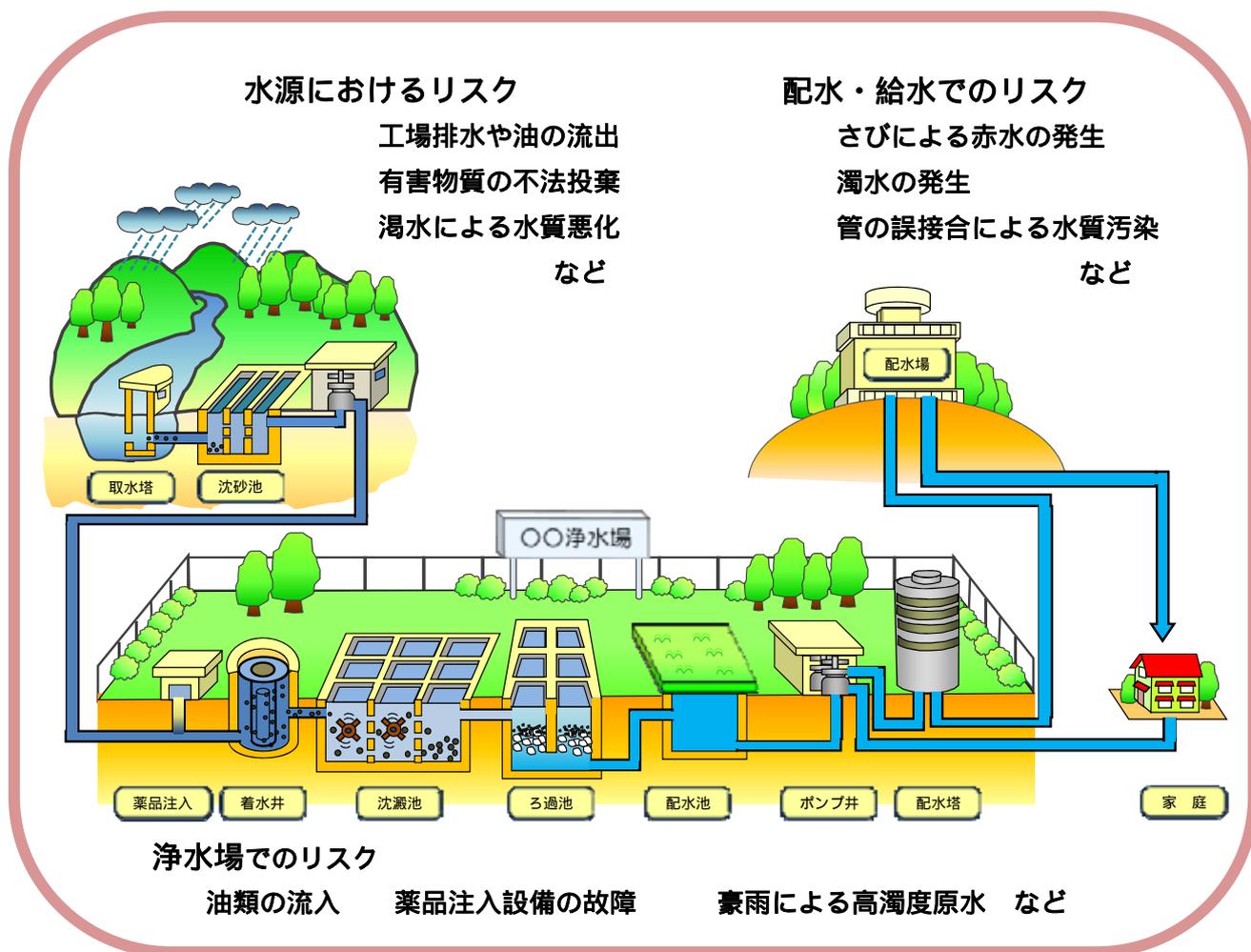
何が危害の原因となるかを明確にする
危害のリスクレベルを発生頻度と影響の大きさで評価

Critical Control Point（重要管理点）

絶対にミスすることができない管理ポイント（重要管理点）を設定
リスクレベルに応じた対応策（管理措置）を整理

危害の抽出と危害分析

危害の抽出



危害抽出

水道水質に影響を及ぼす可能性がある全ての危害を抽出 (100種類)

危害分析

危害のリスクレベルを評価
危害の監視方法
関連した水質項目の整理
リスクレベルに応じた対応策を整理

重要管理点の設定

水源
浄水場の施設
家庭のじゃ口

管理マニュアル作成

31種類のマニュアルとして整備

原水の魚類監視水槽の異常
ろ過水の濁度の異常
給水の臭気の異常

水安全計画の効果

より安全でおいしい水道水が供給できます
維持管理の向上と効率的な施設整備ができます
技術の継承にも役立ちます



より安全でおいしい
水道水を保証します